

もっと知ろう！

## 札幌市LGBTフレンドリー指標制度

～誰もが生きがいと誇りを持つことができるまちの実現を目指して～

### ビジョン・ミッション・バリューに基づく取り組みを推進

札幌市では、互いの個性や多様性を認め合い、誰もが生きがいと誇りを持つことができるまちの実現を目指し、「札幌市LGBTフレンドリー指標制度」を展開しています。

今回は、2021年11月に「札幌市LGBTフレンドリー企業」に登録されたワンダーストレージホールディングス(株)(札幌市)の採用企画部・中野渡ルリ香さんにお話を伺いました。

ワンダーストレージホールディングス(株)は、医療・福祉事業や高齢者福祉・介護事業、障がい者福祉事業、不動産事業などを手がける企業です。総合福祉事業を柱に、誰もが自己実現を追求し、安心した生活を送り続けられる社会インフラの創造を目指し、社会課題の解決に挑んでいます。また、「仕事と子育ての両立」を支援する企業として、「札幌市ワーク・ライフ・バランスplus企業」として認証を受けるなど、働きやすい環境整備にも積極的に取り組んでいます。



#### 一登録した経緯について伺います

きっかけは、当社がスポンサーを務めるコミュニティラジオ「RADIO ワンダーストレージ FMドラマシティ」で番組パーソナリティーを務める当事者支援団体代表との出会いでした。この方は当事者の親として、支援者の立場からの気づきなどを発信されており、交流を重ねるなかで、その取り組みが当社のビジョン・ミッション・バリューにマッチしていたことから、企業として何かできることはないかと考え、「札幌市LGBTフレンドリー企業」の登録に至りました。

#### 一どのような取り組みをされていますか

LGBTに関する情報交換会などに参加し、当事者の方から「働く場所を探すのが困難だった」「同性同士で借りる住居探しに苦労した」といったさまざまな困りごとや意見を直接聞かせていただきました。こうした課題を解決するため、自社内で当事者の方がいる・いないに関わらず働きやすくするための環境整備や、働く社員の理解浸透を進めています。自社内の相談所窓口では、LGBTに関することも含めて、すべての悩み事に対して相談を受け付けており、求人の応募に当たっては、性別欄を必須とせず、ウェブ上の応募フォームにおいても、性別欄は任意としています。

また、自社内だけにとどまらず、社外に向けても誰もが働きやすい世の中を作っていくための情報発信にも取り組んでいます。去年は当事者の方々が安心して情報を得る機会の提供や、多くの方々にLGBTについて知る機会を提供する目的で、LGBTフレンドリーな企業と連携し、オンラインでの啓発イベント「さっぽろにじいろフェスタ」を開催しました。

今後も継続的に情報交換会や勉強会などに参加し、札幌市が目指すまちづくりに少しでも寄与していければと考えています。

札幌市では、性的マイノリティーにフレンドリーな取り組みや対応を進める企業を一定の指標に基づいて登録し、札幌市公式ホームページでも紹介しています。

**「札幌市LGBTフレンドリー指標制度」の問い合わせ・お申し込み先**

札幌市市民文化局男女共同参画室男女共同参画課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2 TEL: 011-211-2962 / E-mail: danjo@city.sapporo.jp